



2022年度

東京音楽大学大学院

音楽研究科修士課程

学生募集要項

一般選抜入学試験

社会人特別選抜入学試験

外国人留学生特別選抜入学試験

2022 年度修士課程入試要項 目 次

I	試験概要 （一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜共通）	
	① アドミッション・ポリシー	1
	② 募集人員	1
	③ 試験場	1
	④ 選抜方法	1
	⑤ 日程一覧	2
	⑥ 試験科目	3
	⑦ 出願の流れ	10
	⑧ 合格発表	11
	⑨ 問い合わせ先	11
II	一般選抜入学試験	
	① 出願資格	12
	② 出願手続	12
III	社会人特別選抜入学試験	
	① 出願資格	14
	② 出願手続	14
IV	外国人留学生特別選抜入学試験	
	① 出願資格	16
	② 出願手続	16
V	入学手続	
	① 入学手続	18
	② 学費	18
VI	指導教員	19
VII	教育課程	21
VIII	カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシー	26
IX	奨学金・経済的支援制度	27
X	成績開示	27
XI	個人情報の取り扱いについて	27

I 試験概要（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜共通）

1 アドミッション・ポリシー

音楽の専門的な研究に必要な基盤を備え、高度な技術、知見、研究能力を持ち、かつ社会の現況と今後の動静に対応できる柔軟な資質と強い意欲を持つ人材を求めます（カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーは p.26）。

2 募集人員

音楽研究科修士課程 70 名（社会人及び外国人留学生を含む）

専 攻	研 究 領 域	募 集 人 員
器 楽	鍵盤楽器 弦楽器 管打楽器 室内楽	36 名
声 楽	独唱 オペラ	21 名
作曲指揮	作曲※ 指揮	5 名
音楽文化研究	音楽教育学 音楽学 ソルフェージュ 多文化音楽	8 名

※社会の多様なニーズに即戦力として対応し得る人材を育成するため、2018 年度より従来の現代音楽中心の「芸術研究」のほかに、各種メディアに対応した実践的な「応用研究」が可能となっています。

3 試験場

東京音楽大学 池袋キャンパス（所在地：〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5）

※試験場には必ず受験票（共演者、伴奏者、譜めくりは受験票のコピー）を持参し、守衛に呈示して入構してください。

4 選抜方法

● 共通科目試験（外国語・音楽史・面接）、専攻科目試験（実技・作品・論文・口述）及び出身大学の成績証明書等の各資料を総合して判定します。

※社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜については、研究領域により共通科目試験（外国語・音楽史・面接）の一部が免除されます。p.3「6 試験科目」を参照してください。

「対面式」と「非対面式」から選択することが可能です。

※ オペラ研究領域及び指揮研究領域は「対面式」のみ実施します。

非対面式を選択する場合、受験する試験科目、研究領域ごとに以下の機器が必要となります。

【外国語、音楽史、音楽学研究領域、ソルフェージュ研究領域、多文化音楽研究領域】

・パソコン（カメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種）

・スマートフォンまたはタブレット

※ イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください。

【上記以外の受験者】

・パソコン・スマートフォン・タブレットのいずれか

※ パソコンの場合はカメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種を使用してください。

※ イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください。

非対面式の実施方法詳細は後日ホームページで発表します。

5 日程一覧

出願及び検定料振込期間（検定料 40,000 円）

2021年10月1日(金) ～ 10月8日(金) 出願書類は郵送のみ受付（消印有効）

※外国在住者で日本への郵便到着に不安がある方は、提出書類のPDFをメールで送付してください。

メール送付先：nyushi@tokyo-ondai.ac.jp

試験期間

2021年11月18日(木) ～ 11月21日(日)

●出願状況により、実技試験の日程が変更されることがあります。

●試験日程、集合場所等の詳細は、Web出願時に登録されたメールアドレスにお知らせします。

専攻	研究領域	11月18日(木)		11月19日(金)	11月20日(土)	11月21日(日)
器楽	鍵盤楽器	ピアノ	外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30		実技試験・面接	
		伴奏	小論文(ピアノ:社会人) 11:30～12:30	実技試験・面接		
	弦楽器		外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30	実技試験・面接		
	管打楽器					実技試験・面接
声楽	独唱		外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30	実技試験・面接		
	オペラ					
作曲指揮	作曲	外国語 10:00～11:00		作品審査・口述試問		
	指揮	音楽史 11:30～12:30	聴音・和声・ 小論文13:30～	指揮実技・口述試問		
音楽文化研究	音楽教育*				口述試問	
	音楽学	外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30		小論文	口述試問	
	ソルフェージュ			ソルフェージュ専攻科目試験「2 実技試験」ピアノ、弦楽器、声楽 (p.9 参照)	ソルフェージュ実技試験、口述試問	ソルフェージュ専攻科目試験「2 実技試験」管打楽器 (p.9 参照)
	多文化音楽	外国語 10:00～11:00 音楽史 11:30～12:30 小論文 13:30～14:30		口述試問または演奏実技を含む口述試問		

●鍵盤楽器研究領域(オルガン、チェンバロ)、室内楽研究領域の実技試験科目日程は出願状況により決定します。

合格発表 2021年12月3日(金) 15:00 ～ 12月6日(月) 17:00

本学ホームページにて発表

入学手続期間 2021年12月4日(土) ～ 12月14日(火)(消印有効)

成績開示申請期間 2021年12月4日(土) ～ 12月14日(火)

※「音楽教育研究領域」の小論文は、全受験者について事前提出による審査となります。

詳細についてはp.9を参照してください。

6 試験科目

共通科目試験

- 外国語：一般選抜入学試験受験者及び社会人特別選抜の音楽学研究領域出願者対象（60 分）
英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語の中から、1ヶ国語を出願時に選択。
語学辞書の持ち込み可（一般辞典、事典ならびに電子辞書を除く）。
- 音楽史：一般選抜入学試験受験者対象（60 分）
西洋音楽史及び日本音楽史。
- 面接：他大学からの一般選抜受験者、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜受験者対象

※ 特別選抜受験者の共通科目試験の免除について

社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の出願者は、以下のように共通科目試験が免除となります。

専攻	研究領域		社会人特別選抜		外国人特別選抜	
			外国語	音楽史	外国語	音楽史
器楽	鍵盤楽器	ピアノ	外国語、音楽史、小論文から1科目選択		免除	
		伴奏	免除		免除	
	弦楽器		免除		免除	
	管打楽器		免除		免除	
声楽			免除		免除	
指揮・作曲			免除		免除	
音楽文化研究	音楽教育		免除 ただし、研究業績・活動業績書並びにその資料を提出すること		免除 ただし、事前に送付する課題の中に基礎的な外国語（英語）と基礎的な音楽理論を含める	
	音楽学		実施	免除	免除 ただし、研究テーマに応じて口述試問の中に含める	免除
	ソルフェージュ		免除	免除	免除	免除
	多文化音楽		免除	免除	免除	免除

【新型コロナウイルス感染症（covid-19）に関するお知らせ】

※ 新型コロナウイルス（covid-19）感染状況により、試験会場、試験方法が変更になることがあります。

※入構の際、マスクを着用してください。入り口で検温、手指の消毒をしていただきますことをご了承ください。

<追試験について>

「対面式」で出願した受験者で、新型コロナウイルス(covid-19)感染対策に関係する事由*により、受験できなかった場合は、入学検定料及び出願内容をそのまま振替えて追試験を受けることができます。

*（1）新型コロナウイルス感染症が疑われる発熱、咳などの症状がある者

（2）新型コロナウイルスに感染して治癒していない者

（3）新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者とされた者、または検査結果を待っている者

[連絡先]東京音楽大学入試課 電話 03-6455-2754 FAX 03-6455-2774

専攻科目試験

●願書受付後、受験曲や志望する専攻の変更は認めません。

●演奏は暗譜で行ってください。ただし、当日、演奏箇所が指定される場合がありますので、試験会場まで楽譜をお持ちください。なお、鍵盤楽器研究領域（伴奏、オルガン、チェンバロ）、管打楽器研究領域（打楽器）、室内楽研究領域及び音楽教育研究領域の演奏実技は暗譜の必要はありません。

●伴奏者、譜めくりを必要とする場合は、志願者が同伴してください。伴奏はピアノ伴奏のみとします。

※奏者及び譜めくりは受験者の責任と負担で用意することとしていますが、遠隔地からの受験など、やむを得ない理由で伴奏者を用意できない場合は、入試課にご相談ください。伴奏者を紹介する場合があります。

伴奏時間・謝礼等

楽器等	伴奏時間		謝礼
	試験前日	試験当日	
弦楽器	60 分	直前練習 30 分 + 本番	15,000 円
声 楽	40 分	直前練習 30 分 + 本番	13,000 円
管打楽器	伴奏者と要相談		

申込方法：出願情報入力時、伴奏者氏名欄に「入試課に依頼」と入力し、出願書類に伴奏者用の楽譜を同封してください。

支払方法：弦楽器、声楽の受験生は願書受付後、本学財務課から振込依頼書が郵送されますので、期日までに振込をしてください（管打楽器受験生は伴奏者と要相談）。

※伴奏者が決定次第、願書に記載のメールアドレスにご連絡します。伴奏者の連絡先をお伝えしますので、2021年11月18日(木)の練習時間を決めてください。練習場所は本学練習室が使用できます。予約方法の詳細は受験票発行のお知らせの際にメールでお送りいたします。

※上記以外の練習を希望する場合は、伴奏者と別途相談となります。

●専攻別課題表

器楽専攻

研究領域		課 題
鍵盤楽器	ピアノ	1. J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集第Ⅰ・Ⅱ巻より任意の1曲 2. 下記のエチュードより任意の1曲 ショパン、リスト、ラフマニノフ、ドビュッシー、スクリャービン、バルトーク、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、プロコフィエフ、メシアン、リゲティ、カプースチン 3. バロック・古典・ロマン・近現代期より異なった2つ以上の時代から任意の2曲以上。楽章の抜粋可。 ※1～3を合わせて25分以上30分程度にまとめ、記載した順序で暗譜で演奏すること。繰り返しは任意。
	オルガン	1. 次の(1)(2)のどちらかを選択すること。 (1)J. S. バッハ：18 コラール集の以下の作品から任意の1曲 BWV 652, 653, 654, 659, 662, 663 (2)フランス古典音楽のクロモルス・アン・タイユもしくはティエルス・アン・タイユの任意の1曲 2. D. ブクステフーデ、N. ブルーンズ、V. リューベックの大規模な Praeludium または Toccata (ペダル付) から任意の1曲 3. J. S. バッハ：トリオ・ソナタから任意の1曲(全楽章、繰り返し省略) 4. J. S. バッハの以下の作品から任意の1曲 BWV 532, 535, 537-548, 550, 564, 566 5. ロマン派、現代のオルガン作品から任意の1曲 ※試験当日以前にレジストレーションのための若干の練習時間を与える。 ※アシスタントを同伴する場合は、Web 出願サイトの志願者情報入力画面に入力してください。 ※オルガンにはスウェル・ペダル及びフリーコンビネーション装置はないので注意のこと。 ※1～5のうち、数曲を当日指定する(「対面式」選択者のみ)。 ※暗譜の必要なし。「非対面式」選択者は、曲目記入票順に全曲演奏すること。
	チェンバロ	1. W.バードまたはJ. P.スウェーリンクによるファンタジア、またはG.フレスコバルディのカプリッチョの中から1曲 2. 任意のプレリュード・ノン・ムジュレまたはトンボーを1曲 3. J.S.バッハ：イギリス組曲 BWV 806-811 または パルティータ BWV 825-830 より任意の1曲(全楽章) 4. 5分以内の自由曲(上記(1) - (3)の作曲家以外の作品とする) 5. 通奏低音 ※以下のa.またはb.から受験生が選択する。 a.以下の①または②の中から1曲選び、受験生が同伴する共演者とともに演奏する。 ① G.F.ヘンデルの通奏低音付きソロソナタから1曲(全楽章)を上声楽器(フルートやヴァイオリンなど)との2重奏の形で演奏する。なお、共演楽器がフラウト・トラヴェルソ、バロックオーボエ、リコーダー、バロックヴァイオリンの場合にはピッチをa1=415とする。また、モダンのフルート、ヴァイオリン、オーボエとの場合には、a1=442とする。 ② C.モンテヴェルディまたはG.フレスコバルディの独唱と通奏低音のための作品(オペラの1場面を含む) 5分以内。声種は問わない(移調は自由)。ピッチはa1=415とする。 b.当日課される数字つき低音課題を、1分程度の予見ののちに(上声部奏者なしで)チェンバロで演奏する。＜非対面式はb選択不可＞ ※楽器はフレンチ・モデル二段鍵盤チェンバロ(音域FF～f3、8' 8" 4、a1=415)

※「非対面式」受験者は動画撮影にあたって、感染状況から共演者との撮影が難しい場合、チェンバロパートのみの演奏でも認めるものとする。

研究領域	課 題
鍵盤楽器	伴奏 1. 次の (1) (2) のどちらかを選択すること。 (1) 次のAB両方を演奏する。 A. 次の①～③の中から1つを選択 ①モーツァルトのヴァイオリン・ソナタK.454またはK.526 (全楽章) ②ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリン又はチェロ・ソナタ (全楽章) ③ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ (全楽章) (ヴィオラとの共演でも可) B. 次の歌曲の中から1つを選択 ①モーツァルト：クローエに K.524 ②シューベルト：ガニュメート D 544 op.19, no.4 ③シューマン：『リーダークライス』 op.39 より no.5 「月の夜」 ④ブラームス：便り op.47, no.1 ⑤ヴォルフ：『アイヒェンドルフ歌曲集』より no. 3 「秘めた愛」 ⑥ R. シュトラウス：変わらぬもの op.69, no.3 ⑦フォーレ：月の光 op.46, no.2 ⑧團伊玖磨：『わがうた』より「ひぐらし」 (2) 次の AB 両方を演奏する。 A. 次の①～④の中から1つを選択 ①ブラームス： ・もし私が帰り道を知っていたなら op.63, no.8 ・愛の歌 op.71, no.5 ・甲斐なきセレナーデ op.84, no.4 ・ぼくらはさまよい歩いた op.96, no.2 ・セレナーデ op.106, no.1 上記の歌曲 (計 5 曲) を全曲演奏すること。順番は自由。 ② R. シュトラウス： ・セレナーデ op.17, no.2 ・矢車菊 op.22, no.1 ・黄昏の中の夢 op.29, no.1 ・愛を抱いて op.32, no.1 ・ばらのリボン op.36, no.1 上記の歌曲 (計 5 曲) を全曲演奏すること。順番は自由。 ③フォーレ：5つのヴェネツィアの歌 op.58 (全曲) ④中田喜直：6つの子どもの歌 (全曲) B. 次の①～③の中から1つを選択 ①モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ K.454 または K.526 (第1楽章のみ) ②ベートーヴェンまたは、ブラームスの任意のヴァイオリン又はチェロ・ソナタ (第1楽章のみ) ③ブラームスの任意のクラリネット・ソナタ (第1楽章のみ) (ヴィオラとの共演でも可) ※ (1) (2) とともに暗譜の必要なし。演奏順序、繰り返しは任意。 2. 次の A または B どちらかを選び、暗譜で演奏する。B の繰り返しがある場合は任意とする。 A. ショパンの練習曲より1曲 (op. 10, no. 6, op. 25, no. 7を除く) B. モーツァルトまたはベートーヴェンの任意のソナタよりテンポの速い1つの楽章 (5分程度) ※新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により「非対面式」での試験を実施するにあたり、2022 年度入試では本来必須としている「初見演奏」を課しません。

研究領域		課 題
弦楽器 ※ 繰り返しは任意 ※ 暗譜で演奏すること	ヴァイオリン	1. パガニーニ：カプリス より任意の1曲 2. J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ より任意のフーガ 3. 任意の協奏曲より第1楽章(カデンツァを含む) ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	ヴィオラ	1. J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲または無伴奏ヴァイオリン・ソナタ より任意の1曲 2. 任意の古典派協奏曲の第1楽章(カデンツァを含む) 3. 任意の近現代協奏曲の第1楽章 ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	チェロ	1. ボッパー：40の練習曲op.73より任意の1曲 2. J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲より任意のプレリュード 3. 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章(カデンツァを含む) ※1～3を合わせて30分以内にまとめること。
	コントラバス	ディッターズドルフ：コントラバス協奏曲 ホ長調 全楽章 (グルーバー版。カデンツァを含む) ※ソロチューニング、オーケストラチューニングいずれも可。
	ハープ	1. ヘンデル：ハープ協奏曲 変ロ長調 全楽章(グランジャンニー版) 2. 以下より1曲、または同程度の難易度、演奏時間の自由曲1曲 ・サルツェード：古代様式による主題と変奏 ・グランジャンニー：狂詩曲
	クラシックギター	1. J. S. バッハ：リュート組曲より任意のプレリュード 2. ヴィラ＝ロボス：エチュードより1曲 3. 任意のギター協奏曲より任意の1楽章
管打楽器	管楽器 (全楽器共通)	20分から30分程度の任意の独奏曲。時代様式の異なった複数の曲が望ましい。 ※ 暗譜で演奏すること。
	打楽器	20分から30分程度の任意の独奏曲。様式の異なった複数の曲が望ましく、1曲はピアノ伴奏付であること。 ※ 暗譜の必要なし。 ※ 演奏する楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表を出願時に提出のこと(製本はしないこと)。
室内楽	● 1 グループの構成は、2名以上6名以内とする。全員が各々願書を出し、曲目記入票に全員の氏名、楽器名等を記入すること。 1. 20分程度の任意の曲(複数曲も可)。邦楽器については事前に問い合わせること。 ※ 暗譜の必要なし。 2. 口述試問	

声楽専攻

- いずれも暗譜で演奏のこと。
- 専攻内での併願可。希望者は願書に第1志望及び第2志望を記入すること。併願の場合、オペラ研究領域の課題で受験すること。

独 唱	歌曲、オペラ、オラトリオより任意の4曲を提出し、うち3曲を以下の順で演奏する。 1. 任意の4曲のうち、1曲を志願者が選択。 2. 上記1を除く3曲より、本学が当日2曲指定する(「対面式」選択者のみ)。 ※「非対面式」選択者は、曲目記入票順に全曲演奏すること。 ※歌唱部分の指示があった場合は、それに従うこと。 ※全体で2か国語以上の作品を用意すること。
オペラ 「非対面式」 での実施なし	任意のオペラアリアを4曲、任意の歌曲を2曲提出し、うち3曲を以下の順で演奏する。 1. 任意のオペラアリア4曲のうち、1曲を志願者が選択。 2. 上記1を除く3曲より、本学が当日1曲指定する。 3. 任意の歌曲2曲より、本学が当日1曲指定する。 ※一、二歩程度の範囲内で簡単な演技をつけること。5分程度にまとめること。 ※演技の必要なし。 ※歌唱部分の指示があった場合は、それに従うこと。 ※全体で2か国語以上の作品を用意すること。 ※助演なし。オペラ研究領域は「非対面式」での入試は実施しません。

作曲指揮専攻

作 曲	1. 楽譜による作品提出^(注) ①管弦楽曲 1曲(独奏、独唱を伴う協奏的作品も可) ②室内楽曲 2曲(声楽を含む作品も可) ※2021年10月30日(土) 17:00までに①②を以下の方法でデータ、紙媒体の両方を提出すること。 ・PDFまたはJPEG (JPG)ファイルにて入試課宛て提出。提出方法は別途ホームページにて発表する。 ・持参または郵送にて入試課に提出(表紙に氏名を記入し、製本はしないこと。原譜のコピー可)。 郵送の場合は簡易書留等追跡できる送付方法とし、提出期日までの必着とする。 ※①②ともA3判までの印刷サイズを指定すること。 ※①②とも1作品につき800字程度の作品に関する解説を添付すること。 ※作品、解説に氏名及びタイトルを記入のこと。 (注)「応用研究」を受験する場合は、打ち込みを含む小編成の作品も可。 2. 口述試問 予備質問書に記入し、願書と共に提出のこと。
指 揮 「非対面式」 での実施なし	1. 聴音：旋律(単旋律、二声及び四声)の書き取り (四声は木管四重奏の録音による) 2. 全ての音部記号を用いた旋律の初見視唱 3. 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い 4. スコアリーディング(2管編成程度の管弦楽曲) 5. 指揮実技(演奏は2台のピアノによる) a) 初見曲 b) ブラームス：《ハイドンの主題による変奏曲》作品56a ※ b は暗譜で演奏(指揮)すること 6. 演奏実技(ピアノを含む任意の楽器を演奏) ※声楽を含まない 7. 和声(バス・ソプラノ課題 [中級程度] 90分) 8. 小論文(90分) 9. 口述試問

音楽教育	- 筆記試験：音楽教育についての小論文(事前提出。字数制限なし) ※課題の提出方法については別途ホームページにて発表する。 - 口述試問(任意の音楽実技試験を含む) ※実技の種類と楽曲は自由とし、演奏時間は5分程度とする(曲の途中で打ち切ることがある)。 ※伴奏者が必要な場合は各自用意すること。暗譜の必要なし。
音楽学	- 筆記試験：音楽学に関する小論文(課題は当日指定する。枚数自由、90分) - 口述試問
ソルフェージュ	- ソルフェージュ実技試験 - 聴音(単旋律、対位旋律、四声体和声) - 新曲視唱(各種音部記号による。ただしメゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く) - ピアノによる初見演奏 - 実技試験 以下の①②よりいずれか一つを選択すること。 ①器楽又は声楽(暗譜)：自由なプログラムによる8分以上15分以下の演奏(伴奏者が必要な場合は各自用意すること。出版されていない楽曲を演奏する場合は楽譜を提出すること)。志願者情報入力画面には演奏実技名を入力のこと。 ②楽譜による作品提出：任意の編成による作品2曲以上提出。 ※2021年10月30日(土) 17:00までに入試課宛てにPDFまたはJPEG (JPG) ファイルで提出すること。提出方法は別途ホームページにて発表する。 ※A3判までの印刷サイズを指定すること。 - ピアノ実技 上記2の①でピアノ演奏を選択しない者及び②の該当者。 課題曲 J.S.バッハ平均律クラヴィーア曲集 第I・II巻より任意の1曲(前奏曲とフーガ) - 口述試問
多文化音楽	- 筆記試験あるいは実技試験 以下の①②よりいずれか一つを選択すること。 ①筆記試験：多文化音楽研究に関する小論文 (課題は当日指定する。枚数自由、90分) ②実技試験：志願者情報入力画面には演奏実技名を入力してください。 次の実技のなかから、自由なプログラムによる15分から20分程度の演奏 (伴奏者が必要な場合は各自用意すること)。 アイヌ伝統音楽(トンコリ)、インド音楽(シタール)、インドネシア音楽 (ジャワガムラン、ジャワ舞踊)、キルギス音楽(コムズ)、中国音楽(二胡、古箏)、 邦楽(箏曲、尺八、三味線等)、モンゴル音楽(馬頭琴)。 ※この他の実技については問い合わせのこと。 - 口述試問

7 出願の流れ

出願方法はWeb出願のみです。

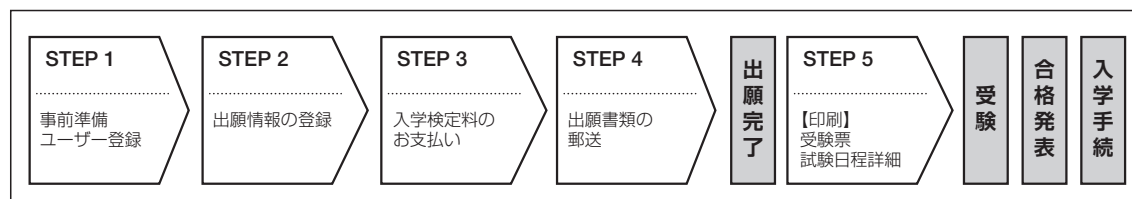
本学ホームページの「入試案内(大学院)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下図手順に沿って出願を行ってください。

※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

< 「出願ガイド」、「出願書類ダウンロード」などWeb出願に必要なページの掲載場所 >

入試案内(大学院)

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam



STEP 1

① Web 出願にあたっての事前準備（詳しくは「出願ガイド」をご覧ください）

- ☐ インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのうち、いずれかの機器
- ☐ メールアドレス
- ☐ プリンター ※
- ☐ PDF表示・印刷ソフトウェア
- ☐ 本人写真(カラー写真データ)

※自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う。

③ 出願書類を確認・準備する。

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」から出願登録を行う。

「出願ガイド」を確認した後、同サイト内の「Web出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

(「出願ガイド」：<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>)

STEP 3

入学検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP 4

出願書類の印刷・記入及び出願書類郵送

- ① 本学ホームページ「入試案内(大学院)」から「出願書類ダウンロード」を選択し、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。
(出願書類ダウンロード：https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam)
- ② レターパックライトを使用して、表面に宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。郵送をもって出願完了となります。

STEP 5

受験票の印刷

検定料支払後、東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」が届いたら、メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。試験日程詳細は別途メールにて送信します。内容をご確認のうえ受験してください。受験票は試験当日に準備してください。

8

合格発表

2021年12月3日(金) 15:00～12月6日(月) 17:00に本学ホームページへ掲載します。電話での問い合わせには応じません。合格者には、合格通知書とともに、入学手続きに必要な書類を入学願書の「現住所」欄に記入された住所あてに郵送します。

9

問い合わせ先

【入試課】

直通電話：03-6455-2754 (日・祝除く 9:00～17:00)

Ⅱ 一般選抜入学試験

1 出願資格

次のうち、いずれかに該当する者

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に規定する大学を卒業した者及び2022年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2022年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学研究科が認めた者
- ⑥ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者

2 出願手続

- ① 「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web出願サイト」からユーザー登録と出願登録を行ってください。出願登録後は志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。
- ② 本学ホームページの「出願書類ダウンロード」から必要書類をダウンロードし、印刷してください。ダウンロードする書類は入力、手書きいずれも可です。
出願書類を一括し、下記のチェックに記載されている出願書類をレターバックライトに封入してください。
- ③ レターバックライトに宛名ラベルを貼って発送してください。
※レターバックライトは郵便ポストに投函できますが、出願期限最終日に郵送する際は、郵便局の窓口を通して郵送することをお勧めします。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A. Web 出願サイト(ユーザー登録、出願情報の登録志願票、宛名ラベル印刷)
<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam



	出願書類		注意事項
1	志願票	「Web出願サイト」のURLから印刷してください (p.12 A参照)	Web出願サイトに必要事項を入力し、申込手続き完了後に印刷してください。
2	宛名ラベル		書類を郵送する際にレターパックに貼り付けて使用してください（拡大・縮小せず A4 で印刷）。
3	履歴書	「出願書類ダウンロード」のURLから印刷してください (p.12 B参照)	音楽修学歴は高等学校以降、師事した教師名、及び指導を受けた専攻名、科目名、楽器等名を記入してください。
4	研究要旨		入学後の研究テーマ及び内容を具体的に記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
5	受験曲目届出用紙 (実技試験受験者)		受験曲目を記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
6	楽器等使用一覧 (打楽器受験者)		使用楽器を記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
7	セッティング表 (打楽器受験者)		本人位置、楽器位置、ピアノ位置等を図示してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
8	予備質問書(1)(2) (作曲研究領域受験者)		質問の答えを記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
9	同意書		「非対面式」受験者のみ提出してください。
10	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
11	卒業(見込)証明書		在籍していた全ての大学(学部、専攻科等)の証明書が必要です(コピー不可)。
12	成績証明書		

【注意】

※外国語(英語を除く)で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳又は英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限りません。

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。

※学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

※以下の項目に該当する場合、事前にご連絡ください。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合(2021年10月9日(土)まで)。
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合。
- ・出願後、住所・氏名・電話番号に変更があった場合。

Ⅲ 社会人特別選抜入学試験

1 出願資格

- ①～⑥のうちいずれかに該当し、かつ⑦の条件に該当する者
- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に規定する大学を卒業した者
 - ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学研究科が認めた者
 - ⑥ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者で22歳に達した者
 - ⑦ 本学大学院音楽研究科修士課程入学時に、既に社会人として学校・官公庁・企業等において一定の期間の職務経験を有する者

2 出願手続

- ① 「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web出願サイト」からユーザー登録と出願登録を行ってください。出願登録後は志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。
- ② 本学ホームページの「出願書類ダウンロード」から必要書類をダウンロードし、印刷してください。ダウンロードする書類は入力、手書きいずれも可です。
出願書類を一括し、次ページの出願書類一覧に記載されている出願書類をレターパックライトに封入してください。
- ③ レターパックライトに宛名ラベルを貼って発送してください。
※レターパックライトは郵便ポストに投函できますが、出願期限最終日に郵送する際は、郵便局の窓口を通して郵送することをお勧めします。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)
A. Web 出願サイト(ユーザー登録、出願情報の登録志願票、宛名ラベル印刷)
<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam



	出願書類		注意事項
1	志願票	「Web出願サイト」のURLから印刷してください (p.14 A参照)	Web 出願サイトに必要事項を入力し、申込手続き完了後に印刷してください。
2	宛名ラベル		書類を郵送する際にレターパックに貼り付けて使用してください(拡大・縮小せず A4 で印刷)。
3	履歴書		音楽修学歴は高等学校以降、師事した教師名、及び指導を受けた専攻名、科目名、楽器等名を記入してください。
4	研究要旨		入学後の研究テーマ及び内容を具体的に記入してください。 ※ 裏面に氏名、フリガナを記入してください。
5	受験曲目記入票 (実技試験受験者)		受験曲目を記入してください。 ※ 裏面に氏名、フリガナを記入してください。
6	楽器等使用一覧 (打楽器受験者)		使用楽器を記入してください。 ※ 裏面に氏名、フリガナを記入してください。
7	セッティング表 (打楽器受験者)		本人位置、楽器位置、ピアノ位置等を図示してください。 ※ 裏面に氏名、フリガナを記入してください。
8	予備質問書(1)(2) (作曲研究領域受験者)		質問の答えを記入してください。 ※ 裏面に氏名、フリガナを記入してください。
9	研究業績・活動業績書 (音楽教育研究領域受験者)		関連書類を添付のこと。 ※ 裏面に氏名、フリガナを記入してください。
10	同意書		「非対面式」受験者のみ提出してください。
11	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
12	在職証明書		学校、官公庁、企業等の所属長が発行する在職証明書(在職期間は問いません)。自営の場合は、確定申告の控えなど、納税に関する公的な証明書の写しを提出してください。
13	卒業(見込)証明書		在籍していた全ての大学(学部、専攻科等)の証明書が必要です(コピー不可)。
14	成績証明書		

【注意】

※外国語(英語を除く)で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳又は英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限りません。

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。

※学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

※以下の項目に該当する場合、事前にご連絡ください。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合(2021年10月9日(土)まで)。
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合。
- ・出願後、住所・氏名・電話番号に変更があった場合。

Ⅳ 外国人留学生特別選抜入学試験

1 出願資格

日本国籍を有しない者で、日本の大学を卒業した者(卒業見込みを含む)は、外国人留学生特別選抜の対象とはならない(国費外国人留学生を除く)。

①～⑥のうちいずれかに該当し、かつ⑦～⑨の条件の全てに該当する者。

- ① 外国の大学を卒業した者及び2022年3月までに卒業見込みの者
- ② 外国の大学において学士の学位を授与された者及び2022年3月までに取得見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学研究科が認めた者
- ⑥ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学研究科が認めた者
- ⑦ 入学時、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の資格を有すること。ただし、「家族滞在」「日本人の配偶者」「定住者」「永住者」等の在留資格で出願することができる。
- ⑧ 確実な身元保証人がいること。身元保証人は、日本国内に居住し、生計を立てている成年者で、受験者の学費と一身上の一切の責任を負うことができる者であること。
- ⑨ 入学後、他の学生と区別なく授業・レッスン等を受けるのに十分な日本語能力(日本語能力試験N1またはN2程度)を有すること。なお、音楽文化研究専攻音楽教育研究領域及び音楽学研究領域出願者は日本語能力試験N1に合格していること。ただし、音楽活動において卓越した才能や資質を有すると本学研究科が認めた場合は、本項に規定する日本語能力を問わないものとする。

2 出願手続

- ① 「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web出願サイト」からユーザー登録と出願登録を行ってください。出願登録後は志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。
- ② 本学ホームページの「出願書類ダウンロード」から必要書類をダウンロードし、印刷してください。ダウンロードする書類は入力、手書きいずれも可です。
出願書類を一括し、下記のチェックに記載されている出願書類をEMS等追跡可能な方法で送付してください。
- ③ 出願書類は出願期限最終日の消印有効です。最終日に郵送する際は、必ず郵便局の窓口を通して郵送してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A. Web 出願サイト(ユーザー登録、出願情報の登録志願票、宛名ラベル印刷)

<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam



出願書類			注意事項
1	志願票	「Web出願サイト」のURLから印刷してください (p.16 A参照)	Web出願サイトに必要事項を入力し、申込手続き完了後に印刷してください。
2	宛名ラベル (レターバック仕様)		書類発送にレターバックを使用する場合は貼り付けてください (拡大・縮小せず A4 で印刷)。
3	履歴書		音楽修学歴は高等学校以降、師事した教師名、及び指導を受けた専攻名、科目名、楽器等名を記入してください。
4	研究要旨		入学後の研究テーマ及び内容を具体的に記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
5	受験曲目届出用紙 (実技試験受験者)		受験曲目を記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
6	楽器等使用一覧 (打楽器受験者)		使用楽器を記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
7	セッティング表 (打楽器受験者)		本人位置、楽器位置、ピアノ位置等を図示してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
8	予備質問書(1)(2) (作曲研究領域受験者)		質問の答えを記入してください。 ※裏面に氏名、フリガナを記入してください。
9	同意書		「非対面式」受験者のみ提出してください。
10	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。
11	在留カード等		在留カードの両面、又はパスポート(氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限及びビザ(査証)のページ)のコピーを提出してください。
12	日本語学習経歴書 及び 証明書(該当者のみ)		様式自由(本学における研究活動に十分な日本語能力を有することがわかるもの) 日本語能力試験N1又はN2に合格している場合は「認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。 <u>なお、音楽文化研究専攻(音楽教育・音楽学研究領域)の受験者は、日本語能力試験N1の「認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。</u>
13	卒業(見込)証明書		在籍していた全ての大学(学部、専攻科等)の証明書が必要です(コピー不可)。
14	成績証明書		※外国語(英語を除く)で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳又は英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限りません。

【注意】

※外国語(英語を除く)で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳又は英語訳及び公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限りません。

※学位授与機構によって学位が授与された者は、卒業証明書及び成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とします。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

※以下の項目に該当する場合、事前にご連絡ください。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合(2021年10月9日(土)まで)。
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合。
- ・出願後、住所・氏名・電話番号に変更があった場合。

V 入学手続

1 入学手続

入学手続の流れは以下の通りです。期間内に(1) (2)の手続きを完了しない者は、入学の意志がないものとして合格を取り消します。

(1)学費の納入 → (2)入学手続書類郵送 → (3)入学許可

(1) 学費の納入

2021年12月4日(土)から12月14日(火)までに学費を納入するとともに、(2)の書類を簡易書留にて入試課に郵送してください。

※入学金の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。

(2) 入学手続に必要な書類 (詳細は入学手続書類に同封される案内で確認してください)

- ① 誓約書(本学所定の用紙)
- ② 住民票(3ヶ月以内のもの)
- ③ 学生証用写真(カラー、サイズ縦4.5cm×横3.5cm)
- ④ 保健調査票(本学所定の用紙)
- ⑤ その他本学が提出を指示したもの

※下記の者は、2022年3月26日(土)までに証明書を提出してください。学士の学位が得られなかった場合は、その旨をすみやかに入試課にご連絡ください。

- ・2022年3月卒業見込者：卒業証明書及び成績証明書
- ・学位授与機構に学位授与申請中の者：学位授与証明書

(3) 入学許可

手続き完了の者には、入学許可書を交付します。

(4) 入学辞退

入学辞退者には、入学金を除いた納付金を返還します。2022年3月30日(水) 11:30までに入試課に申し出てください。

返還申込期間：2022年3月24日(木)～3月30日(水) (土日祝は除く)

※室内楽研究領域はグループ全員が入学できなかった場合は、合格は取り消しとなります。

2 学費その他の納入金

本学の学費については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses>



VI 指導教員

大学院修士課程担当教員(2021年度)

専攻	研究領域	細専攻区分	教員名
器楽	鍵盤楽器	ピアノ	石井 克典、大竹 紀子、岡田 敦子、佐藤 俊、野島 稔、東 誠三、菊地 麗子、迫 昭嘉、鷺見 加寿子、武田 真理、播本 枝未子、村上 隆、若林 顕、小川 典子、石附 秀美、御邊 典一、川上 昌裕、川島 基、倉沢 仁子、小高 明子、広瀬 宣行、石井 理恵、稲田 潤子、長川 晶子、菊地 裕介、仲田 みずほ、渚 智佳、西川 秀人、吉田 友昭、米田 栄子 ほか
		オルガン	徳岡 めぐみ
		チェンバロ	大塚 直哉
		伴奏	山洞 智、広瀬 宣行、御邊 典一、ピアノ担当教員 ほか
	弦楽器	ヴァイオリン	荒井 英治、大谷 康子、神尾 真由子、木野 雅之、竹澤 恭子、山口 裕之、海野 義雄、篠崎 功子、瀬戸 瑤子、藤原 浜雄、小栗 まち絵、原田 幸一郎、中村 静香、横山 俊朗 ほか
		ヴィオラ	店村 真積、百武 由紀、大野 かおる
		チェロ	菊田 雅治、ドミトリー・フェイギン、鈴木 秀美、毛利 伯郎、山本 裕康 ほか
		コントラバス	星 秀樹、吉田 秀、永島 義男
		ハープ	篠崎 史子
		クラシックギター	荘村 清志、江間 常夫
	管打楽器	木管	小串 俊寿、工藤 重典、四戸 世紀、宮本 文昭、水谷 上総、中野 真理、古部 賢一、伊藤 圭、松本 健司 ほか
		金管	アンドレ・アンリ、外園 祥一郎、津堅 直弘、水野 信行、杉本 正毅、福川 伸陽、新田 幹男、次田 心平 ほか
		打楽器	神谷 百子、菅原 淳、久保 昌一 ほか
	室内楽	鍵盤楽器 弦楽器 管打楽器	鍵盤楽器研究領域ピアノ担当教員 弦楽器研究領域担当教員 管打楽器研究領域担当教員

専 攻	研究領域	教員名
声 楽	独唱 オペラ	釜洞 祐子、菅 有実子、小森 輝彦、服部 洋一、水野 貴子、 横山 恵子、佐野 成宏、秋山 隆典、木下 美穂子、立原 ちえ子、 伊達 英二、星 洋二、緑川 まり ほか
作 曲 指 揮	作曲	糀場 富美子、西村 朗、野平 一郎、藤原 豊、細川 俊夫、 中橋 愛生、原田 敬子、有馬 純寿 ほか
	指揮	田代 俊文、広上 淳一、増井 信貴、野口 芳久、石坂 宏、 加納 明洋、坂本 和彦、三河 正典、三原 明人、米津 俊広 ほか
音 楽 文 化 研 究	音楽教育	渡辺 裕、下道 郁子、福田 裕美
	音楽学	坂崎 則子、武石 みどり、藤田 茂、村田 千尋
	ソルフェージュ	糀場 富美子、伊藤 節子、日野原 秀彦、福士 則夫、荒尾 岳児、 岡島 礼
	多文化音楽	金城 厚、糀場 富美子、藤原 豊、加藤 富美子、小日向 英俊、 滝田 美智子、劉 継紅、福田 裕美、ウメトバエワ カリマン、 柿堺 香、菊池 大、木村 佳代、杉浦 孝夫、千葉 伸彦、 針生 すぐり、毛 ヲ、マハバル サウガゲレル ほか

(変更の可能性あり) 2022 年度実施

修了要件：大学院に2年以上在籍し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文（専攻により研究作品若しくは研究演奏を加え、または修士論文に代えて研究作品若しくは研究演奏とする）の審査及び試験に合格すること。

器樂專攻

鍵盤楽器(ピアノ・伴奏)

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計
必修科目	器楽実習Ⅰ	3				28	32
	器楽実習Ⅱ		3				
	器楽実習Ⅲ			3			
	器楽実習Ⅳ				3		
	楽曲分析演習A	2					
	楽曲分析演習B		2				
	楽曲分析演習C			2			
	楽曲分析演習D				2		
	器楽特殊研究A	2					
	器楽特殊研究B		2				
選択科目	器楽特殊研究C			2		4	
	器楽特殊研究D				2		
	室内楽実習A	2					
	室内楽実習B		2				
	室内楽実習C			2			
	室内楽実習D				2		
	伴奏法A	2					
	伴奏法B		2				
	伴奏法C			2			
	伴奏法D				2		
		★					

鍵盤楽器(オルガン・チェンバロ)

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計
必修科目	器楽実習Ⅰ	2				24	32
	器楽実習Ⅱ		2				
	器楽実習Ⅲ			2			
	器楽実習Ⅳ				2		
	楽曲分析演習A	2					
	楽曲分析演習B		2				
	楽曲分析演習C			2			
	楽曲分析演習D				2		
	器楽特殊研究A	2					
	器楽特殊研究B		2				
選択科目	器楽特殊研究C			2		8	
	器楽特殊研究D				2		
	室内楽実習A	2					
	室内楽実習B		2				
	室内楽実習C			2			
	室内楽実習D				2		
	伴奏法A	2					
	伴奏法B		2				
	伴奏法C			2			
	伴奏法D				2		

(★)器楽専攻共通の選択科目

授業科目	単位数				授業科目	単位数			
	I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター
楽書講読(英) A	2				音楽学特別演習 1 A	2			
楽書講読(英) B		2			音楽学特別演習 1 B		2		
楽書講読(独) A	2				音楽学特別演習 2 A	2			
楽書講読(独) B		2			音楽学特別演習 2 B		2		
楽書講読(仏) A	2				作曲実践演習 A	2			
楽書講読(仏) B		2			作曲実践演習 B		2		
楽書講読(伊) A	2				作曲実践演習 C			2	
楽書講読(伊) B		2			作曲実践演習 D				2
※論文作成 I	2				声楽実践演習 A	2			
※論文作成 II		2			声楽実践演習 B		2		
※論文作成 III			1		声楽実践演習 C			2	
ポピュラー音楽特講 A	2				声楽実践演習 D				2
ポピュラー音楽特講 B		2			器楽実践演習 A	2			
マルチメディア研究 1 A	2				器楽実践演習 B		2		
マルチメディア研究 1 B		2			器楽実践演習 C			2	
マルチメディア研究 2 A	2				器楽実践演習 D				2
マルチメディア研究 2 B		2			指揮実践演習 A	2			
原典特殊研究(英) A	2				指揮実践演習 B		2		
原典特殊研究(英) B		2			指揮実践演習 C			2	
原典特殊研究(英) C			2		指揮実践演習 D				2
原典特殊研究(英) D				2	邦楽実践演習 A	2			
原典特殊研究(独) A	2				邦楽実践演習 B		2		
原典特殊研究(独) B		2			邦楽実践演習 C			2	
原典特殊研究(独) C			2		邦楽実践演習 D				2
原典特殊研究(独) D				2	スコアリーディング研究 A	2			
原典特殊研究(伊) A	2				スコアリーディング研究 B		2		
原典特殊研究(伊) B		2			和声分析研究 A	2			
原典特殊研究(伊) C			2		和声分析研究 B		2		
原典特殊研究(伊) D				2	楽曲解釈研究 A	2			
原典特殊研究(仏) A	2				楽曲解釈研究 B		2		
原典特殊研究(仏) B		2			※レコーディング実習を含む DTM A	2			
原典特殊研究(仏) C			2		※レコーディング実習を含む DTM B		2		
原典特殊研究(仏) D				2					
原典特殊研究(日) A	2								
原典特殊研究(日) B		2							
原典特殊研究(日) C			2						
原典特殊研究(日) D				2					

※他の研究領域開設科目
備考参照

備考

- 一 原典特殊研究は、(英) A～D、(独) A～D、(伊) A～D、(仏) A～Dそれぞれの授業科目を履修した場合であっても、8単位までを修了要件の単位として認める。
- 二 共通選択科目の実践演習は1学期1科目のみ履修することができる。
- 三 他の研究領域開設科目は、研究上の必要から履修を希望する場合に、指導教員の許可を得て履修することができる。履修した授業科目の単位数のうち、4単位までを修了単位として認める。
- 四 他の研究領域の室内楽実習は弦楽器研究領域の科目である。この科目を履修した場合は、自領域の室内楽実習A～Dを履修することはできない。
- 五 専修免許を取得する場合には、※マークの付いた科目以外で24単位以上取得すること。
- 六 学部開設授業科目は、研究上の必要から履修を希望する場合に、指導教員の許可を得て聴講することができる。
- 七 器楽実践演習は、必修科目で履修している楽器を履修することはできない。

弦楽器研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数		
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計	
必修科目	器楽実習Ⅰ	2				20		
	器楽実習Ⅱ		2					
	器楽実習Ⅲ			2				
	器楽実習Ⅳ				2			
	楽曲分析演習A	1						
	楽曲分析演習B		1					
	楽曲分析演習C			1				
	楽曲分析演習D				1			
	器楽特殊研究A	2						
	器楽特殊研究B		2					
器楽特殊研究C			2					
器楽特殊研究D				2				
選択科目	室内楽実習A	1				12		32
	室内楽実習B		1					
	室内楽実習C			1				
	室内楽実習D				1			
	オーケストラ実習A	4						
	オーケストラ実習B		4					
	オーケストラ実習C			4				
	オーケストラ実習D				4			
	弦楽合奏A	1						
	弦楽合奏B		1					
	弦楽合奏C			1				
	弦楽合奏D				1			

管打楽器研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計
必修科目	器楽実習Ⅰ	2				20	
	器楽実習Ⅱ		2				
	器楽実習Ⅲ			2			
	器楽実習Ⅳ				2		
	楽曲分析演習A	1					
	楽曲分析演習B		1				
	楽曲分析演習C			1			
	楽曲分析演習D				1		
	器楽特殊研究A	2					
	器楽特殊研究B		2				
器楽特殊研究C			2				
器楽特殊研究D				2			
選択科目	室内楽実習A	1				12	
	室内楽実習B		1				
	室内楽実習C			1			
	室内楽実習D				1		
	オーケストラ実習A	4					
	オーケストラ実習B		4				
	オーケストラ実習C			4			
	オーケストラ実習D				4		
	吹奏楽実習A	4					
	吹奏楽実習B		4				
	吹奏楽実習C			4			
	吹奏楽実習D				4		
	★						

室内楽研究専攻

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計
必修科目	器楽実習Ⅰ	2				20	
	器楽実習Ⅱ		2				
	器楽実習Ⅲ			2			
	器楽実習Ⅳ				2		
	楽曲分析演習A	1					
	楽曲分析演習B		1				
	楽曲分析演習C			1			
	楽曲分析演習D				1		
	器楽特殊研究A	2					
	器楽特殊研究B		2				
器楽特殊研究C			2				
器楽特殊研究D				2			
選択科目	室内楽実習A	1				12	
	室内楽実習B		1				
	室内楽実習C			1			
	室内楽実習D				1		
	オーケストラ実習A	4					
	オーケストラ実習B		4				
	オーケストラ実習C			4			
	オーケストラ実習D				4		
	吹奏楽実習A	4					
	吹奏楽実習B		4				
	吹奏楽実習C			4			
	吹奏楽実習D				4		
	弦楽合奏A	1					
	弦楽合奏B		1				
	弦楽合奏C			1			
	弦楽合奏D				1		
	★						

(★)器楽専攻共通の選択科目

授業科目	単位数				授業科目	単位数			
	I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター
楽書講読(英)A	2				音楽学特別演習1A	2			
楽書講読(英)B		2			音楽学特別演習1B		2		
楽書講読(独)A	2				音楽学特別演習2A	2			
楽書講読(独)B		2			音楽学特別演習2B		2		
楽書講読(仏)A	2				作曲実践演習A	2			
楽書講読(仏)B		2			作曲実践演習B		2		
楽書講読(伊)A	2				作曲実践演習C			2	
楽書講読(伊)B		2			作曲実践演習D				2
※論文作成Ⅰ	2				声楽実践演習A	2			
※論文作成Ⅱ		2			声楽実践演習B		2		
※論文作成Ⅲ			1		声楽実践演習C			2	
ポピュラー音楽特講A	2				声楽実践演習D				2
ポピュラー音楽特講B		2			器楽実践演習A	2			
マルチメディア研究1A	2				器楽実践演習B		2		
マルチメディア研究1B		2			器楽実践演習C			2	
マルチメディア研究2A	2				器楽実践演習D				2
マルチメディア研究2B		2			指揮実践演習A	2			
原典特殊研究(英)A	2				指揮実践演習B		2		
原典特殊研究(英)B		2			指揮実践演習C			2	
原典特殊研究(英)C			2		指揮実践演習D				2
原典特殊研究(英)D				2	邦楽実践演習A	2			
原典特殊研究(独)A	2				邦楽実践演習B		2		
原典特殊研究(独)B		2			邦楽実践演習C			2	
原典特殊研究(独)C			2		邦楽実践演習D				2
原典特殊研究(独)D				2	スコアリーディング研究A	2			
原典特殊研究(伊)A	2				スコアリーディング研究B		2		
原典特殊研究(伊)B		2			和声分析研究A	2			
原典特殊研究(伊)C			2		和声分析研究B		2		
原典特殊研究(伊)D				2	楽曲解釈研究A	2			
原典特殊研究(仏)A	2				楽曲解釈研究B		2		
原典特殊研究(仏)B		2			邦楽実践演習A	2			
原典特殊研究(仏)C			2		邦楽実践演習B		2		
原典特殊研究(仏)D				2	邦楽実践演習C			2	
原典特殊研究(日)A	2				邦楽実践演習D				2
原典特殊研究(日)B		2			※他の研究領域開設科目				備考参照
原典特殊研究(日)C			2						
原典特殊研究(日)D				2					
原典特殊研究(日)E				2					

声楽専攻

独唱研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計
科 必 目 修	声楽実習Ⅰ	3				12	
	声楽実習Ⅱ		3				
	声楽実習Ⅲ			3			
	声楽実習Ⅳ				3		
選 択 必 修 科 目	歌曲分析演習A(ドイツ歌曲)	2				8	
	歌曲分析演習B(ドイツ歌曲)		2				
	歌曲分析演習C(ドイツ歌曲)			2			
	歌曲分析演習D(ドイツ歌曲)				2		
	歌曲分析演習A(フランス歌曲)	2					
	歌曲分析演習B(フランス歌曲)		2				
	歌曲分析演習C(フランス歌曲)			2			
	歌曲分析演習D(フランス歌曲)				2		
	歌曲分析演習A(スペイン歌曲)	2					
	歌曲分析演習B(スペイン歌曲)		2				
	歌曲分析演習C(スペイン歌曲)			2			
	歌曲分析演習D(スペイン歌曲)				2		
	歌曲分析演習A(ロシア歌曲)	2					
	歌曲分析演習B(ロシア歌曲)		2				
	歌曲分析演習C(ロシア歌曲)			2			
	歌曲分析演習D(ロシア歌曲)				2		
選 択 科 目		★				20	

オペラ研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計
必修科目	声楽実習Ⅰ	2				12	32
	声楽実習Ⅱ		2				
	声楽実習Ⅲ			2			
	声楽実習Ⅳ				2		
	オペラ総合実習A			2			
	オペラ総合実習B				2		
選択科目	オペラ特殊研究A	4				20	
	オペラ特殊研究B		4				
	オペラ特殊研究C			4			
	オペラ特殊研究D				4		
	オペラ演習・身体表現A	1					
	オペラ演習・身体表現B		1				
	オペラ演習・身体表現C			1			
	オペラ演習・身体表現D				1		
	オペラ演習・バレエA	1					
	オペラ演習・バレエB		1				
	オペラ演習・バレエC			1			
	オペラ演習・バレエD				1		
	★						
	12						

(★)声楽専攻共通の選択科目

授業科目	単位数				授業科目	単位数			
	I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター
コレベティ演習A	0.5				原典特殊研究(仏)A	2			
コレベティ演習B		0.5			原典特殊研究(仏)B		2		
コレベティ演習C			0.5		原典特殊研究(仏)C			2	
コレベティ演習D				0.5	原典特殊研究(仏)D				2
声楽特殊研究A(独)	2				原典特殊研究(日)A	2			
声楽特殊研究B(独)		2			原典特殊研究(日)B		2		
声楽特殊研究A(伊)	2				原典特殊研究(日)C			2	
声楽特殊研究B(伊)		2			原典特殊研究(日)D				2
合唱実習A	2				音楽学特別演習1A	2			
合唱実習B		2			音楽学特別演習1B		2		
オラトリオ研究A	2				音楽学特別演習2A	2			
オラトリオ研究B		2			音楽学特別演習2B		2		
楽書講読(英)A	2				作曲実践演習A	2			
楽書講読(英)B		2			作曲実践演習B		2		
楽書講読(独)A	2				作曲実践演習C			2	
楽書講読(独)B		2			作曲実践演習D				2
楽書講読(仏)A	2				器楽実践演習A	2			
楽書講読(仏)B		2			器楽実践演習B		2		
楽書講読(伊)A	2				器楽実践演習C			2	
楽書講読(伊)B		2			器楽実践演習D				2
※論文作成Ⅰ	2				指揮実践演習A	2			
※論文作成Ⅱ		2			指揮実践演習B		2		
※論文作成Ⅲ			1		指揮実践演習C			2	
ポピュラー音楽特講A	2				指揮実践演習D				2
ポピュラー音楽特講B		2			邦楽実践演習A	2			
マルチメディア研究1A	2				邦楽実践演習B		2		
マルチメディア研究1B		2			邦楽実践演習C			2	
マルチメディア研究2A	2				邦楽実践演習D				2
マルチメディア研究2B		2			スコアリーディング研究A	2			
原典特殊研究(英)A	2				スコアリーディング研究B		2		
原典特殊研究(英)B		2			和声分析研究A	2			
原典特殊研究(英)C			2		和声分析研究B		2		
原典特殊研究(英)D				2	楽曲解釈研究A	2			
原典特殊研究(独)A	2				楽曲解釈研究B		2		
原典特殊研究(独)B		2			※レコーディング実習を含むDTM A	2			
原典特殊研究(独)C			2		※レコーディング実習を含むDTM B		2		
原典特殊研究(独)D				2					
原典特殊研究(伊)A	2								
原典特殊研究(伊)B		2							
原典特殊研究(伊)C			2						
原典特殊研究(伊)D				2					
					※他の研究領域開設科目	備考参照			

備考

- 一 原典特殊研究は、(英) A～D、(独) A～D、(伊) A～D、(仏) A～Dそれぞれの授業科目を履修した場合であっても、8単位までを修了要件の単位として認める。
- 二 共通選択科目の実践演習は1学期1科目のみ履修することができる。
- 三 他の研究領域開設科目は、研究上の必要から履修を希望する場合に、指導教員の許可を得て履修することができる。履修した授業科目の単位数のうち、4単位までを修了単位として認める。
- 四 専修免許を取得する場合には、※マークの付いた科目以外で24単位以上取得すること。
- 五 学部開設授業科目は、研究上の必要から履修を希望する場合に、指導教員の許可を得て聴講することができる。

作曲指揮専攻

作曲研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数		
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計	
必修科目	作曲実習Ⅰ	2				24	32	
	作曲実習Ⅱ		2					
	作曲実習Ⅲ			2				
	作曲実習Ⅳ				2			
	作曲演習A	2						
	作曲演習B		2					
	作曲演習C			2				
	作曲演習D				2			
	作曲特論1 A	2				芸術は必修 応用は選択		
	作曲特論1 B		2					
	作曲特論2 A	2						
	作曲特論2 B		2					
作曲特論3 A	2				応用は必修 芸術はA・B のみ 選択科目、 CDは履修不可			
作曲特論3 B		2						
作曲特論3 C			2					
作曲特論3 D				2				
選択科目	作曲特論1 C			2		8		
	作曲特論1 D				2			
	作曲特論2 C			2				
	作曲特論2 D				2			
	指揮実践演習A	2						
	指揮実践演習B		2					
	指揮実践演習C			2				
	指揮実践演習D				2			
	スコアリーディング研究A	2						
	スコアリーディング研究B		2					
★								

指揮研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数		
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計	
必修科目	指揮実習Ⅰ	2				20		
	指揮実習Ⅱ		2					
	指揮実習Ⅲ			2				
	指揮実習Ⅳ				2			
	指揮演習 A	3						
	指揮演習 B		3					
	指揮演習 C			3				
指揮演習 D				3				
選択科目	指揮楽書特殊研究A	2				12		32
	指揮楽書特殊研究B		2					
	指揮楽書特殊研究C			2				
	指揮楽書特殊研究D				2			
	音楽理論 A	1						
	音楽理論 B		1					
	音楽理論 C			1				
	音楽理論 D				1			
	スコアリーディングA	1						
	スコアリーディングB		1					
	スコアリーディングC			1				
	スコアリーディングD				1			
	作曲実践演習 A							
	作曲実践演習 B							
	作曲実践演習 C							
	作曲実践演習 D							
	★							

(★)作曲指揮専攻共通の選択科目

授業科目	単位数				授業科目	単位数			
	I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター
楽書講読(英)A	2				原典特殊研究(日)A	2			
楽書講読(英)B		2			原典特殊研究(日)B		2		
楽書講読(独)A	2				原典特殊研究(日)C			2	
楽書講読(独)B		2			原典特殊研究(日)D				2
楽書講読(仏)A	2				音楽学特別演習1A	2			
楽書講読(仏)B		2			音楽学特別演習1B		2		
楽書講読(伊)A	2				音楽学特別演習2A	2			
楽書講読(伊)B		2			音楽学特別演習2B		2		
※論文作成Ⅰ	2				声楽実践演習A	2			
※論文作成Ⅱ		2			声楽実践演習B		2		
※論文作成Ⅲ			1		声楽実践演習C			2	
ポピュラー音楽特講A	2				声楽実践演習D				2
ポピュラー音楽特講B		2			器楽実践演習A	2			
マルチメディア研究1A	2				器楽実践演習B		2		
マルチメディア研究1B		2			器楽実践演習C			2	
マルチメディア研究2A	2				器楽実践演習D				2
マルチメディア研究2B		2			邦楽実践演習A	2			
原典特殊研究(英)A	2				邦楽実践演習B		2		
原典特殊研究(英)B		2			邦楽実践演習C			2	
原典特殊研究(英)C			2		邦楽実践演習D				2
原典特殊研究(英)D				2	和声分析研究A	2			
原典特殊研究(独)A	2				和声分析研究B		2		
原典特殊研究(独)B		2			楽曲解釈研究A	2			
原典特殊研究(独)C			2		楽曲解釈研究B		2		
原典特殊研究(独)D				2	※レコーディング実習を含むDTM A	2			
原典特殊研究(伊)A	2				※レコーディング実習を含むDTM B		2		
原典特殊研究(伊)B		2			※他の研究領域開設科目	備考参照			
原典特殊研究(伊)C			2						
原典特殊研究(伊)D				2					
原典特殊研究(仏)A	2								
原典特殊研究(仏)B		2							
原典特殊研究(仏)C			2						
原典特殊研究(仏)D				2					

備考

- 一 原典特殊研究は、(英) A～D、(独) A～D、(伊) A～D、(仏) A～D それぞれの授業科目を履修した場合であっても、8単位までを修了要件の単位として認める。
- 二 共通選択科目の実践演習は1学期1科目のみ履修することができる。
- 三 他の研究領域開設科目は、研究上の必要から履修を希望する場合に、指導教員の許可を得て履修することができる。
履修した授業科目の単位数のうち、4単位までを修了単位として認める。
- 四 専修免許を取得する場合には、※マークの付いた科目以外で24単位以上取得すること。
- 五 学部開設授業科目は、研究上の必要から履修を希望する場合に、指導教員の許可を得て聴講することができる。

音樂教育研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数		
		I セムスター	II セムスター	III セムスター	IV セムスター	小計	合計	
必修科目	音楽教育音楽習Ⅰ	2				16		
	音楽教育音楽習Ⅱ		2					
	音楽教育音楽習Ⅲ			2				
	音楽教育音楽習Ⅳ				2			
	音楽教育音楽習ⅠA	2						
	音楽教育音楽習ⅠB		2					
選択必修科目	音楽教育音楽習ⅡA	2	2			4		
	音楽教育音楽習ⅡB	2						
	音楽教育音楽習ⅢA	2	2					
	音楽教育音楽習ⅢB	2						
	音楽教育音楽習ⅣA	2	2					
	音楽教育音楽習ⅣB	2						
選択科目	音楽教育音楽特選ⅠA	2	2			(選択必修科目 を含めて)16		32
	音楽教育音楽特選ⅠB	2	2					
	音楽教育音楽特選ⅡA	1	1					
	音楽教育音楽特選ⅡB	1						
	音楽教育音楽特選ⅢA			1				
	音楽教育音楽特選ⅢB				1			
	音楽教育音楽特選ⅣA	1	1					
	音楽教育音楽特選ⅣB			1				
	音楽教育音楽特選ⅤA	1	1					
	音楽教育音楽特選ⅤB			1				
	音楽教育音楽特選ⅥA	1	1					
	音楽教育音楽特選ⅥB			1				
	音楽教育音楽特選ⅦA	1	1					
	音楽教育音楽特選ⅦB			1				
	音楽教育音楽特選ⅧA	2						
	音楽教育音楽特選ⅧB		2					
音楽教育音楽特選ⅨA			2					
音楽教育音楽特選ⅨB				2				
		★						

ソルフェージュ研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計
必修科目	ソルフェージュ研究演習A	2				22	
	ソルフェージュ研究演習B		2				
	ソルフェージュ研究演習C			2			
	ソルフェージュ研究演習D				2		
	ソルフェージュ研究演習A	2					
	ソルフェージュ研究演習B		2				
	ソルフェージュ研究演習C			2			
	ソルフェージュ研究演習D				1		
	※ソルフェージュ特殊研究Ⅰ	2					
	※ソルフェージュ特殊研究Ⅱ		1				
選択必修科目	※ソルフェージュ特殊研究Ⅲ			2		4	32
	※ソルフェージュ特殊研究Ⅳ				2		
	音楽実習A		1				
	作曲実習A			1			
	作曲実習B				1		
	作曲実習C						
	音楽実習A	1					
	音楽実習B		1				
	音楽実習C			1			
	音楽実習D				1		
	音楽実習A	1					
	音楽実習B		1				
	音楽実習C			1			
	音楽実習D				1		
	指揮実習A	1					
	指揮実習B		1				
選択科目	指揮実習C			1		(選択必修科目を含めて)10	
	指揮実習D				1		
	音楽実習A	1	1				
	音楽実習B			1			
	音楽実習C				1		
	音楽実習D				1		
	音楽実習A	2					
	音楽実習B		2				
音楽実習C			2				
音楽実習D				2			
★							

音楽学研究領域

履修区分	授業科目	単位数				修了要件単位数	
		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計	合計
必修科目	※音楽学実習Ⅰ	3					
	※音楽学実習Ⅱ		3				
	※音楽学実習Ⅲ			3			
	※音楽学実習Ⅳ				3		
	音楽学演習 A	2				20	
	音楽学演習 B		2				
	音楽学演習 C			2			
選択科目	音楽学演習 D				2		
	音楽学特殊研究 1 A	2					
	音楽学特殊研究 1 B		2				
	音楽学特殊研究 2 A	2					
	音楽学特殊研究 2 B		2				
	音楽学特殊研究 3 A	2					
	音楽学特殊研究 3 B		2				
	邦楽実践演習 A	2					
	邦楽実践演習 B		2				
	邦楽実践演習 C			2			
邦楽実践演習 D				2			
★							

多文化音楽研究領域

履修区分		授業科目	単位数				修了要件単位数		合計
			I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター	小計		
必修科目		※多文化音楽実習Ⅰ	2				8		
		※多文化音楽実習Ⅱ		2					
		※多文化音楽実習Ⅲ			2				
		※多文化音楽実習Ⅳ				2			
選択必修科目		多文化音楽研究演習ⅠA	2	2			8		
		多文化音楽研究演習ⅠB							
		多文化音楽研究演習ⅠC			2				
		多文化音楽研究演習ⅠD				2			
		多文化音楽研究演習ⅡA	2						
		多文化音楽研究演習ⅡB		2					
		多文化音楽研究演習ⅡC	2	2					
		多文化音楽研究演習ⅡD		2					
		多文化音楽実技実習ⅠA	1						
		多文化音楽実技実習ⅠB		1					
		多文化音楽実技実習ⅡC			1				
		多文化音楽実技実習ⅡD				1			
選択科目		邦楽・古楽・民族楽器実習ⅠA	1				(選択必修科目を含めて) 24		
		邦楽・古楽・民族楽器実習ⅠB		1					
		邦楽・古楽・民族楽器実習ⅡC			1				
		邦楽・古楽・民族楽器実習ⅡD				1			

(★)音楽文化研究専攻共通の選択科目

授業科目	単位数				授業科目	単位数			
	I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター		I セメスター	II セメスター	III セメスター	IV セメスター
楽書講読(英)A	2				音楽学特別演習1A	2			
楽書講読(英)B		2			音楽学特別演習1B		2		
楽書講読(独)A	2				音楽学特別演習2A	2			
楽書講読(独)B		2			音楽学特別演習2B		2		
楽書講読(仏)A	2				作曲実践演習A	2			
楽書講読(仏)B		2			作曲実践演習B		2		
楽書講読(伊)A	2				作曲実践演習C			2	
楽書講読(伊)B		2			作曲実践演習D				2
ガビユータ音楽特講A	2				声楽実践演習A	2			
ガビユータ音楽特講B		2			声楽実践演習B		2		
マルチメディア研究1A	2				声楽実践演習C			2	
マルチメディア研究1B		2			声楽実践演習D				2
マルチメディア研究2A	2				器楽実践演習A	2			
マルチメディア研究2B					器楽実践演習B		2		
原典特殊研究(英)A	2				器楽実践演習C			2	
原典特殊研究(英)B		2			器楽実践演習D				2
原典特殊研究(英)C			2		指揮実践演習A	2			
原典特殊研究(英)D				2	指揮実践演習B		2		
原典特殊研究(独)A	2				指揮実践演習C			2	
原典特殊研究(独)B		2			指揮実践演習D				2
原典特殊研究(独)C			2		スコアディング研究A	2			
原典特殊研究(独)D				2	スコアディング研究B		2		
原典特殊研究(伊)A	2				和声分析研究A	2			
原典特殊研究(伊)B		2			和声分析研究B		2		
原典特殊研究(伊)C			2		楽曲解釈研究A	2			
原典特殊研究(伊)D				2	楽曲解釈研究B				
原典特殊研究(仏)A	2				ミュージック理論をCOTM A	2			
原典特殊研究(仏)B		2			ミュージック理論をCOTM B		2		
原典特殊研究(仏)C			2						
原典特殊研究(仏)D				2					
原典特殊研究(日)A	2				※他の研究領域 開設科目	備考参照			
原典特殊研究(日)B		2							
原典特殊研究(日)C			2						
原典特殊研究(日)D				2					

備考

- 一 原典特殊研究は、(英)A～D、(独)A～D、(伊)A～D、(仏)A～Dそれぞれの授業科目を履修した場合であっても、8単位までを修了要件の単位として認める。
- 二 選択科目の実践実習は1学期1科目のみ履修することができる。
- 三 共通選択科目の実践演習は1学期1科目のみ履修することができる。
- 四 他の研究領域開設科目は、研究上の必要から履修を希望する場合に、指導教員の許可を得て履修することができる。履修した授業科目の単位数のうち、4単位までを修了単位として認める。
- 五 音楽教育学特殊研究は1と2を隔年で開講する。
- 六 専修免許を取得する場合には、
※マークの付いた科目(音楽教育研究領域は、音楽学特殊研究1A～3B・邦楽・古楽・民族楽器実習A～Dを除く)以外で24単位以上取得すること。
- 七 学部開設授業科目は、研究上の必要から履修を希望の場合に、指導教員の許可を得て聴講することができる。

カリキュラム・ポリシー

●器楽専攻

- ・学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。
- ・時代や地域、演奏形態、楽器の特性、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。
- ・学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。
- ・2年次にはリサイタル形式の修士演奏を行います。

●声楽専攻

- ・学部で習得した演奏能力を発展させ、レパートリーを拡充します。
- ・時代や地域、演奏形態、ジャンル等の様々な要素を総合的にとらえた高度な作品解釈力、アンサンブル能力の獲得を目指します。
- ・声楽にとって必要な外国語の能力を獲得し、日本語も含めた正しい発音、発声法、歌唱法に基づく芸術的な表現と言語能力を獲得します。
- ・オペラ研究領域では、朗読、立ち居振る舞い、パントマイム、バレエ等の身体表現を学び、舞台での実践力を修得します。
- ・学生それぞれが目指す将来の職業（演奏家や指導者など）に対応する能力が身につくようにします。
- ・2年次には修士演奏を行います。

●作曲指揮専攻（作曲）

- ・自らの個性的な創作の基盤ないしは起点となるべき課題を定め、自主性をもって能動的な研究活動、研究発表を行うことにより、総合的な作曲能力の向上を目指します。
- ・最先端情報処理技術を探求し、進化し続けるマルチメディア環境を学び、その実践に取り組みます。
- ・2年次には修士作品を作成します。

●作曲指揮専攻（指揮）

- ・指揮者というものの存在意義を再認識し、高度かつ機能的な技法を学び、深い知識や教養の獲得を目指します。
- ・指揮者として自分を見つめ、自分に必要なことを自ら判断する能力を身につけます。

- ・指揮の技法・音楽的な知識・教養はもとより、広く人間同士のつながりが大切であることを学びます。
- ・2年次には修士演奏としてオーケストラを指揮します。

●音楽文化研究専攻（音楽教育）

- ・音楽教育に関わる専門的な知見を身につけ、研究能力と実践力を修得します。
- ・社会における様々な音楽文化活動の展開を可能にする幅広い知識を身につけ応用力を獲得します。
- ・音楽教育、音楽文化活動に関わる課題を設定し、修士論文を作成します。

●音楽文化研究専攻（音楽学）

- ・音楽学研究に必要な方法論を追究します。
- ・演奏や教育、周辺領域を含む広範囲な視座の獲得を目指します。
- ・学生それぞれが目指す将来の職業（研究者や教育者など）に対応する能力が身につくようにします。
- ・自分の問題意識を明確化し、それに基づいて修士論文を作成します。

●音楽文化研究専攻（ソルフェージュ）

- ・楽曲の総合的理解、把握、解釈を可能にする高度な読譜力の修得を目指します。
- ・指導法や教材作成など、ソルフェージュ教育に必要な能力を獲得します。
- ・学生それぞれが目指す将来の職業（教育者や研究者など）に対応する能力が身につくようにします。
- ・各自の専門実技のさらなる修得に加えて、2年次には修士論文を作成します。

●音楽文化研究専攻（多文化音楽）

- ・日本を含む世界各地の伝統的な音楽文化を理論と実技の両面から専門的に学びます。
- ・伝統的な音楽文化を生かした新しい音楽文化（作品、演奏、研究など）の創造を目指します。
- ・2年次には、理論研究に重点を置いた修士論文の作成、あるいは、実技研究に重点を置いた作品や演奏を通じた課題研究の作成により研究の成果をまとめます。

ディプロマ・ポリシー

大学院修士課程においては所定の単位を修得し、かつ以下に示す能力を身に付け、学位審査試験に合格した者に、修士（音楽）の学位を授与します。なお、学位審査試験は修士演奏・修士作品あるいは修士論文（一部専攻においてはこれらの組み合わせ）及び最終試験によって行います。

- 1) 高度な専門的知識・技能と研究能力を身に付け、自立的で質の高い音楽活動を展開できること。
- 2) 旺盛な国際感覚を持ち、多様な音楽的価値観を尊重できること。
- 3) 現代社会における音楽芸術のあり方について考察し、音楽による社会貢献ができること。

IX 奨学金・経済的支援制度

本学の奨学金・経済的支援制度については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/12765.php>



X 成績開示

修士課程入学試験の成績開示については、入学試験を受験して不合格であった者から開示請求があった場合、下記のとおり行います。

① 開示方法

申請書を受理した日から30日以内に、開示内容を記載した書面を受験者本人宛に特定記録郵便にて送付します。

② 開示申請期間

2021年12月4日(土)～12月14日(火)

③ 開示の請求方法

受験票、返信用封筒(返信先を明記し、244円切手を貼付した定型封筒)及び所定の申請書(後日ホームページで発表)を同封の上、「入学試験成績開示請求」と朱書きをして、特定記録郵便により入試課へ送付してください。

XI 個人情報の取り扱いについて

1 個人情報の取り扱いについて

入学願書提出時に提供いただく「氏名、住所(連絡先)、その他の個人情報(以下、個人情報)」は、選考並びに入試の可否案内・入学手続の連絡を行うために使用します。

なお、合格された方の上記個人情報につきましては、入学後は入学時に提出いただく学生カードと併せて学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要なが生じた場合に使用します。

2 個人情報の管理・保管について

本学は、受験生の方々から提供を受けた個人情報を学校法人東京音楽大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管し、受験生の方々の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

東京音楽大学

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

ホームページアドレス <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

お問い合わせ先：入試課直通 03-6455-2754（月曜日～土曜日9:00～17:00）

03-6455-2774（FAX）

中目黒・代官山キャンパス

J R 「恵比寿駅」西口より徒歩約14分

私 鉄 東急東横線「代官山駅」正面口より徒歩約5分

東急東横線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分

地下鉄 日比谷線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分

池袋キャンパス

J R 「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分

私 鉄 西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分

地下鉄 丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分

副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分

有楽町線「東池袋駅」より徒歩約15分

都 電 都電荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約5分

バ ス 「東京音楽大学前」より徒歩約3分

〈アクセス〉



TCM

Tokyo College of Music Graduate School

東京音楽大学大学院